



今年度末の開通に向け、橋面工が始まる

高欄の設置が概ね完了

現在、今年度末の開通に向けて皆様が車や歩いて渡る部分の橋面工の施工を進めているところです。そこで今回は、橋面工の進捗状況を紹介します。9月末時点で高欄（外側の柵）の設置が概ね完了し、歩道の高さを調整する調整コンクリートや橋の上の雨水を流す鋼製排水溝、車両用防護柵の基礎となる地覆の設置が完了しています。羽田空港側は、橋梁の点検に必要な検査路の設置を行っています。今後、舗装や照明、標識の設置を進めていきます。令和3年度末開通に向けて、安全第一に工事を進めていきます。



歩道空間イメージ図



歩道部進捗状況（9月末時点）



車道部（都県境から殿町側を望む）



車道部（都県境から羽田空港側を望む）



階段から見る高欄設置状況



環状八号線橋脚の検査路設置状況

【多摩川河口干潟の生き物⑮(コサギ)】

コサギ(小鷺)とは言っても、羽を広げると1mの白さぎの仲間で、抜き足差し足といった感じで水際を移動しながら、小魚やカニなどを狙う姿が、殿町の調査でもよく確認されています。白さぎは、真っ白な美しさや水際での物憂げな佇まいが、昔から絵の題材になったり、歌舞伎や日本舞踊の題材になったりしています。一方で、なぜコサギの足指の先だけ黄色いのか、不思議です。その昔、神様が鳥たちにカラーリングした時、あれやこれや注文がうるさかったカラスは、重ね塗りして結局真っ黒になってしまったそうですが、おしとやかで物静かなコサギには、ワンポイントのオシャレを施してみたい気になったのかもしれませんが。というわけで、街中で足指に装飾を施しているオシャレな方々を見かける度に、多摩川スカイブリッジの下に佇むコサギの姿を思い起こすことになりそうな気がします。



工事広報館は今年12月をもって閉館します

見学はお早めに！

工事着手時から現場内に開設しておりました「工事広報館」ですが、工事ヤードの復旧工事に伴い、本年12月をもって閉館いたします。長らくのご利用ありがとうございました。

工事広報館には、完成後イメージした橋の模型や多摩川に生息する生き物、工事方法の説明などを展示しています。また、屋上からは工事状況に加えて、多摩川や羽田空港の雄大な景色が望めます。

残りわずかではありますが、見学をご希望の方は、別添もしくは、下記の川崎市・五洋JVのホームページの中にある「工事広報館見学申込書」に必要な事項をご記入いただき、五洋JV事務所まで直接か、郵送、FAXにて送付願います。ご不明な点につきましては、お電話などを頂きたく存じます。皆様のご見学をお待ちしています。



工事ヤード復旧工事状況



工事広報館からの眺望

ソラムナード羽田緑地の通行止め解除

ご協力ありがとうございました。

9月に足場撤去のため、夜間にソラムナード羽田緑地および環状八号線を通行止めにして工事を行っていましたが、無事に工事が完了しました。環状八号線については、今後、数日間の夜間通行止めを予定していますが、ソラムナード羽田緑地部の通行止め工事は今回で完了となります。

たびたびの通行止めでご迷惑をおかけしました。ご協力のほどありがとうございました。



足場撤去前 (多摩川上流より)



夜間足場撤去状況



足場撤去完了 (多摩川上流より)

【土木豆知識⑮】 橋梁点検車

橋梁点検車は、高架道路や橋梁の下などの調査、点検作業時に使用する高所作業車の1種です。足場を組むことが困難な場所でも、橋梁の上からスムーズに移動して作業することができます。

多摩川スカイブリッジは川の上に架設されていることから、歩いて橋梁下面の点検を行うことができませんので、橋梁点検車で橋梁点検を行う必要があります。

本橋は、鋼桁の下まで点検可能な国内最大級のBT400という点検車が使用可能なように設計されています。

写真は一回り小さいBT200です。

現在、この点検車を利用して、橋梁部の外部足場の撤去を行っています。



橋梁点検車 (BT200)

お問合せ先



川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設事務所

所在地：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3-25-25

電話：044(200)0436

FAX：044(288)1782

<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体 (五洋JV)

所在地：〒210-0821

川崎市川崎区殿町3-25-24

電話：044(201)9381

FAX：044(201)9382

<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>